

2024年度 警察事務職員 採用試験情報

● 上級試験 (大学卒業程度)



採用試験内容

※【 】内は配点。合計700点満点。

● 第1次試験

科目	方法等
教養試験【100点】	択一式 (47問中40問選択2時間)
専門試験【100点】	択一式 (50問中40問選択2時間)
口述試験【100点】	筆記試験で上位の者に対して実施

● 第2次試験

科目	配点
論文試験 (1時間30分)	【100点】
口述試験 (個別面接・集団討論)	【300点】
適性検査	

● 初級試験 (高校卒業程度)



採用試験内容

※【 】内は配点。合計600点満点。

● 第1次試験

科目	方法等
教養試験【200点】	択一式 (50問2時間)
適性検査	

● 第2次試験

科目	配点
作文試験 (1時間30分)	【100点】
口述試験 (個別面接・集団討論)	【300点】

採用後について

- ◆ 採用後は滋賀県警察学校に入校します。
- ◆ 同期生とともに約1ヶ月の研修を受け、その後、警察本部の各所属や県内各警察署等に配属されます。

※受験資格や受験申込受付期間、申込方法など詳細は、それぞれの試験の「受験案内」をご確認ください。
 ※受験案内は滋賀県警察本部、各警察署、県庁受付、県内各合同庁舎、東京本部等で配布するほか、郵送で請求することもできます。
 詳細は県HP内にある「滋賀県職員採用ポータルサイト」のページをご確認ください(上級試験は5月上旬頃、初級試験は7月上旬頃に配布開始予定)。

〈受験案内請求先〉 滋賀県人事委員会事務局 〒520-8577 大津市京町4丁目1番1号(県庁東館6階) TEL:077-528-4454

選考考査

滋賀県警察では、受験資格に一定の資格等が必要となる臨床心理士、科学捜査研究所の研究員、少年補導職員、航空整備士、船舶技術者等の試験を行っています。試験は不定期で実施していますので、詳しい試験情報は滋賀県警察ホームページで随時ご確認ください。

各種制度等

● 昇任試験制度

警察事務職員にも警察官と同じように昇任試験制度があります。昇任は学歴や年齢に関係なく勤務実績や試験によって決定されます。努力次第で上位職を目指す実力主義で、平等にチャンスが与えられています。基本的な昇任は下記のとおりです。



● 給与

	採用時 (地域手当を含む)
上級 (大学卒)	約 218,000 円
初級 (短大卒)	約 195,000 円
初級 (高校卒)	約 184,000 円

2024年1月1日現在

給与額はそれぞれ相当学歴の新規卒者を例にとったもので、卒業後の職歴がある場合や大学院を卒業されている場合には一定の基準に基づいてこの額に加算されます。また、このほかに扶養手当、通勤手当、期末・勤労手当等が支給されます。昇給は原則として毎年1回行われます。

● 福利厚生

- 共済組合** 警察官・警察事務職員は、警察共済組合員となり、民間企業の健康保険・厚生年金制度に相当する共済組合制度の対象となります。
- 健康診断** すべての職員を対象に、年1回の定期健康診断を行います。また、職員本人や家族が人間ドック等を受診した場合の助成制度もあります。
- 助成制度** 物資の斡旋、貸付制度(一般、医療、住宅など)、見舞金、弔慰金などの給付制度や自己啓発活動に対する助成制度が整っています。
- 施設利用** リゾート施設をはじめ、レジャー施設やスポーツジムなど、余暇を充実させる多くの施設と割引利用契約をしています。
- 互助会** 給付(結婚・出産・入学などのお祝い金)や助成(レジャー施設などの利用補助)だけでなく、万一のケガや病気の保険も大変充実しています。

採用試験に関するお問い合わせ

滋賀県警察本部 警務課採用係

〒520-8501 滋賀県大津市打出浜1番10号
JR琵琶湖線大津駅下車 徒歩10分・京阪石山坂本線島ノ関駅下車 徒歩3分

TEL.077-522-1231(代)

受付時間 / 8:30~17:15 (平日のみ)
※土・日・祝日及び年末年始は受付していません。



滋賀県警察 採用案内 検索



この印刷物は古紙/パルプを使用した再生紙を使用しています。



誰かを守りたい

あの時、胸に抱いた理想が
今、誰かを守っている。

それが原点



滋賀県警察事務職員 採用案内 2024

その挑戦が誰かを救う。

警察官と力を合わせて、県民の暮らしを支え守り抜く。

警察事務職員は「行政職」の公務員であり、「公安職」の警察官とは、職務の権限や範囲に違いはありますが、県民の暮らしを支え、守り抜くという同じ目的を持って、警察組織とその活動の基盤を支える重要な業務に従事しています。



警務課

先輩のVoice

警察本部の警務課で、滋賀県警察全職員の人員配置状況の把握のほか、育児休業の承認等の業務を行っています。人員の把握は、組織運営に関わる事項ですので、正確に把握することが重要です。組織運営に携わるといってプレッシャーに感じることもありますが、その分、やりがいをもって取り組んでいます。私は、滋賀県の治安維持に貢献できると思い、警察事務職員の道を選びました。治安維持や組織運営は、警察官だけでも警察事務職員だけでも成り立ちません。警察官と警察事務職員、それぞれが互いの業務を理解し、協力し合うことが大切だと思います。警察官の数に比べると、警察事務職員の数は少ないですが、その分、多岐にわたる業務を経験することもでき、いずれの業務でも、やりがいと達成感を得られる職場です。

(2017年度採用 主任主事)

会計課

先輩のVoice

警察本部の会計課で、警察車両の修繕手続き、新車の納入、車検の管理等の警察車両全般の業務を主に担当しています。いずれの業務も警察業務の運営に欠かせない重要な業務であり、一つ一つの仕事に意味があると考え、非常にやりがいを感じます。私は、大学卒業後、6年間民間企業で働いていましたが、地域に貢献することを大切にしたいという思いから転職を決意しました。警察組織といえば、バイクや私服で捜査をしている刑事などの華やかな印象が強いです。警察事務は、そのような華やかさはないかもしれませんが、警察組織を円滑に運営するために必要な仕事であり、第一線で奮闘している警察官を様々な面から支えることに魅力を感じます。

(2020年度採用 主任主事)

生活安全企画課

先輩のVoice

警察本部の生活安全企画課で、子どもと女性に対する犯罪情報の管理や統計、各警察署向けの業務資料の作成のほか、ホームページを通して、子ども・女性被害の犯罪発生状況等、県民への情報発信も行っています。県民から信頼される警察組織であり続けるために、提供する情報や文言には正確性が求められる場面が多いですが、県民の方へ有益な情報を提供し、より良い社会の構築に貢献できることに強くやりがいを感じています。また、警察事務職員として働く中で、毎日学びの連続であり、私自身大きく成長できていると実感しています。警察事務は、今持っている長所やスキルを活かしながら、それ以上に成長できる職場であると思います。警察事務職員の一員として皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

(2023年度採用 主事)

警察署交通課

先輩のVoice

警察署の交通課で、交通規制関係の許認可業務を担当しています。許認可業務では、対応の遅れや間違いがあると、申請者にご迷惑をお掛けするだけでなく、警察組織に対する信頼の低下に直結するため、報告や連絡はこまめに素早く行い、迅速な業務遂行を意識して日々業務を行っています。責任ある業務を通じて、交通事故の未然防止やスムーズな車両通行の維持に貢献していると感じられ、それがやりがいにもなっています。私は、警察官の仕事に興味を持ったことをきっかけに、警察事務という仕事を知り、自分の適性に合った仕事と考え、警察事務の道を選びました。警察事務は、組織全体の運営から来庁者の対応まで、幅広い業務があるため、きっと自身の適性に合った働きやすく、楽しいと感じられる職場が見つかると思います。

(2023年度採用 主事)

●主な仕事内容

会計	警察活動に必要な資機材等の調達事務などの予算執行や施設の維持管理、職員の旅費や給与事務などを担当。予算は、すべて公金(税金)であることから規則に則った厳格で透明性の高い事務処理が要求されます。
拾得物	県民の皆さんから届けられる拾得物、遺失物に関する業務を担当。年間約12万件的の拾得物を取り扱い、落とし主にお返しできる業務に励んでいます。
情報管理	県警察で使用するシステム、PC、ネットワーク機器の構築、整備、運用を担当。警察情報を安全に運用できる環境を整えるとともに、システムの開発等により各種警察活動の改善や効率化にも貢献しています。
施設管理	警察署や交番・駐在所の新築、改修工事などの施設管理を担当。警察官には働きやすく、県民の方々が利用しやすいと喜んでもらえる施設になるように管理をし、警察機能の維持・向上を担います。
許認可	運転免許証の新規交付や更新手続、車庫証明の申請受理、道路使用許可及び通行許可の申請受理など、県民の方々からの申請に対し、親切丁寧に対応するよう心掛けています。
厚生	職員とその家族が充実した人生を送れるよう、保険事業や結婚・出産・疾病時の給付事業、健康診断や健康相談などの健康管理業務を行います。

●身体基準の有無

警察官の採用試験とは異なり、視力や聴力などの身体検査や体力試験はありません。

●勤務時間、休日・休暇など

勤務時間

●8時30分から17時15分まで
(休憩時間を除き、1日実働7時間45分) ※一部の係を除く

休日・休暇等

●土・日曜日、祝日、年末年始 ※一部の係を除く
●年次有給休暇(年間20日 ※採用時は採用月により変動あり)
●特別休暇(夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、看護休暇など)
●育児休業制度(子どもが3歳になるまで取得可能)

※その他、各状況に応じた妊娠・出産・育児に関する支援が整っています。詳しくは警察官の採用案内をご覧ください。

滋賀県警察事務職員のQ & A

Q 警察事務職員の魅力とは何ですか？

警察事務の仕事は、警察組織の基盤をつくり、運営を支えることによって、社会に貢献できる仕事です。滋賀県のために、私にもできることがある。それが警察事務の魅力です。

A

Q 配属先を希望することはできますか？

採用後は、本人の適性や能力等を考慮し、警察本部又は警察署に配属されます。その後は毎年、希望する部署や勤務地を申告する制度が整っており、人事異動に活かされます。

A

Q 警察事務職員も警察学校へ入校するのですか？

事務職員として採用後、約1ヶ月警察学校に入校し、警察職員として必要な知識や心構えを学びます。主任、係長、課長等昇任時には、それぞれの階級にふさわしい知識・心構えを学ぶため、他府県警察の警察事務職員と一緒に入校します。

A

Q 事件の捜査に関わることはできますか？

犯人逮捕や交通取締りなど行政職の権限を超えた職務はできませんが、犯罪や事故の統計分析や鑑識、交通規制部門など、捜査に深く関与する部署での活躍は可能です。

A